

# 就職について考える

## 3日、松戸でフォーラム

「若者就労支援フォーラム『考える／職に就く』ということ」(松戸市、聖徳大、流経大共催)が、六月三日午後二時から、



講演する梅沢氏

同市若瀬の聖徳大学十号館で開かれる。

二ト、フリーター、早期離職など若者の就労が社会問題となってい

る中、若者の就職意識を高め、若者が社会的に自立し活躍する街づくりを目指して開催する。

当日は二部制で、第一部は「はばたく若者へのメッセージ」(ナットクの働き方)と題し、法政大講師でNPO法人・キャリア文化研究所理事長の梅沢正氏が基調講演を行う。

第二部は、「若者の就労と支援のあり方」を考えたパネルディスカッション。パネリストは松戸市公共職業安定所所長・秋葉道洋、都機

工代表取締役・長橋護、若者自立塾で活動する小沢真、聖徳大キャリア支援室長・高田茂、流経大就職支援センター課長・岡崎靖生の各氏。コーディネーターは立教大開発・支援センターの小島貴子氏。

時間は午後五時までに、参加対象は就職を希望する十五〜三十五歳とその保護者ら。定員は先着百人で入場無料。申し込み・問い合わせは同市商工観光課労政係(☎047-1366-7327)。